

2 年次後期・選択／保健師コース必修

1 単位・15 時間

【概要・目標】

環境要因による健康障害について学ぶ。職業病や作業関連疾患についての基本的な知識を習得する。作業環境管理、作業管理、健康管理の3管理を主体とした労働衛生管理の考え方をもとに、それらの予防対策を講じるための応用力を身につける。また、性・年齢をはじめとする労働者の多様性を考慮しながら、すべての労働者がより快適に仕事をしていくための考え方を習得する。さらには、職域で課題となっている喫煙対策、2015年から施行されているストレスチェックを含むメンタルヘルス対策についても学ぶ。

【授業内容のスケジュール】

- 1) 環境保健論の概論
- 2) 職域における有害要因と労働衛生管理の概要（総論）
- 3) 有害作業と健康障害（職業病）
- 4) 作業管理とエルゴノミクス
- 5) 労働者の多様性と作業管理
- 6) 職場の喫煙対策
- 7) 心身の作業関連疾患、ストレスチェックについて
- 8) まとめ

【評価】

試験（100%）、レポート（0%）、小テスト（0%）、発表（0%）、提出物（0%）、出席状況（0%）、参加態度（0%）、その他（0%）

【教科書】

使用しない。プリントを配布する。

【推薦参考図書】

法研 編「職域における保健と医療実践ハンドブック」法研 2007
中央労働災害防止協会 編「労働衛生のしおり 令和2年度」中央労働災害防止協会2019
（最新版は毎年8月頃発行されます）

【その他】

連絡先：moriokai@wakayama-med.ac.jp（森岡）
iwane-mst@ns-med.or.jp（岩根）